



## TOP MESSAGE



### 「エコ・ファースト企業」として ～環境金融への新たな挑戦～

当行は「自分にきびしく 人には親切 社会につくす」という「行是(社是)」を永久に堅持すべき哲学として掲げ、環境保全を中心としたCSR(企業の社会的責任)経営を企業活動の柱と位置づけて展開してまいりました。

「環境保全のシンボル」というべき琵琶湖畔に本拠を置く金融機関として、11年前から“クリーンバンクしがぎん”を合言葉に、「環境経営」の実践に努めているところです。

具体的には、銀行ならではの取り組みとして、「お金の流れで地球環境を守る」との気概で、環境対応型金融商品を地域の皆さんに提供しています。「学校ビオトープづくり」に貢献する「エコプラス定期」をはじめとして、本年4月には、お客さまの定期預金のお預け入れ金額に応じて当行が温室効果ガス排出権を購入する、全国の金融機関初の「カーボンオフセット定期預金『未来の種』」と、7月には、それを原資とした「事業者向け環境配慮型融資『未来の芽』」など、当行独自の商品の取り扱いも開始しました。また一方で、9年目を迎えたニュービジネスフォーラム「サタデー起業塾」では、今年はテーマをエコビジネスに絞り込んで開催中であり、7月には「エコビジネスマッチングフェア」を、1800名余の多数のご来場を得て、盛大に開催することができました。

このような環境対応型金融商品等の開発・提供や、地域社会の環境ビジネス支援への取り組みが評価され、本年7月、環境省から全国7番目、金融機関では第1号として「エコ・ファースト企業」の認定をいただきました(詳細は本誌3ページをご参照願います)。現在は「エコ・ファースト宣言」の実践に努めるとともに、さらに、経済団体の一員として、環境成長経済の実現をめざす「滋賀エコ・エコノミープロジェクト」(戦略本部長:当行高田会長)に参画し、2030年までに滋賀県のCO<sub>2</sub>排出量の50%削減と、低炭素社会の実現に貢献すべく取り組んでおります。

環境問題は、“Think Globally, Act Locally(地球規模で考え、足元から行動せよ)”と言われます。滋賀銀行は、「環境経営」が人類の未来にとって不可欠であるとともに、事業としても大きなビジネスチャンスであることを、地域の皆さまにあらゆる角度から働きかけ、地域社会の環境保全への取り組みに貢献してまいりたい、また、地域のエコ・ベストプラクティス(成功事例)を、全国・世界に発信していきたいと考えています。

今回で8回目の発行となる本レポートや“しがぎんグループ”に対しまして、皆さまから忌憚のないご意見、ご提案をいただき、今後のCSR活動の更なる充実に努めてまいる所存です。

平成20年9月

取締役頭取 **大道良夫**